

## 第2回ジェット口跡地活用に係る基本構想市民検討会 報告書（本編版）

江戸川台駅東口周辺地区再整備事業のうち、ジェット口跡地の活用については、市民で構成される検討会において、活用方針や機能の検討を進めています。

第2回目の検討会を開催しましたので、その内容について下記のとおり報告します。



▲検討の様子

- ・日時：令和5年10月18日（水）18時30分～20時30分
- ・場所：江戸川台東自治会館
- ・委員等出席者：16名

委員等	所属	委員等	所属
石田座長	早稲田大学	加藤委員	子育て団体
坪井委員	江戸川台東自治会	志見委員	//
熊谷委員	//	高野委員	商工団体
長瀬委員	//	染谷委員	障害者団体
三好委員	//	吉岡委員 (熊木委員代理)	//
杉浦委員	//	赤地委員	公募市民
樫木委員	江戸川台西自治会	市原委員	//
富田委員	高齢者団体	照沼委員	//

・市職員出席者：

まちづくり推進部長 梶	健康福祉部長 伊原
まちづくり推進課長 苅込	健康福祉課 課長補佐 坂本
まちづくり推進課 主任主事 吉野	
まちづくり推進課 主任主事 坂本	

・議題

(1) 第1回検討会のまとめ

- ・第1回検討会で話し合った江戸川台周辺の魅力や課題について、令和3年度に実施した市民等へのアンケート結果も踏まえて、市において整理しました。
- ・そのうち、ジェット口跡地で解決する課題について、下記のとおり、市においてまとめ、説明しました。

・ 高齢者が多い ⇒高齢化社会へ対応した支え合う体制づくり
・ 子どもや子育て世代が少ない ⇒次世代を担う子どもや若者の確保
・ ふらっと集まる場所がない ⇒住民同士がつながる機会づくり
・ バリアフリーになっていない ⇒高齢者、障害者、子どもの他、誰もが過ごしやすい環境づくり
・ 魅力的なお店が少ない ⇒地域固有の魅力づくり

(2) ジェット口跡地活用方針について

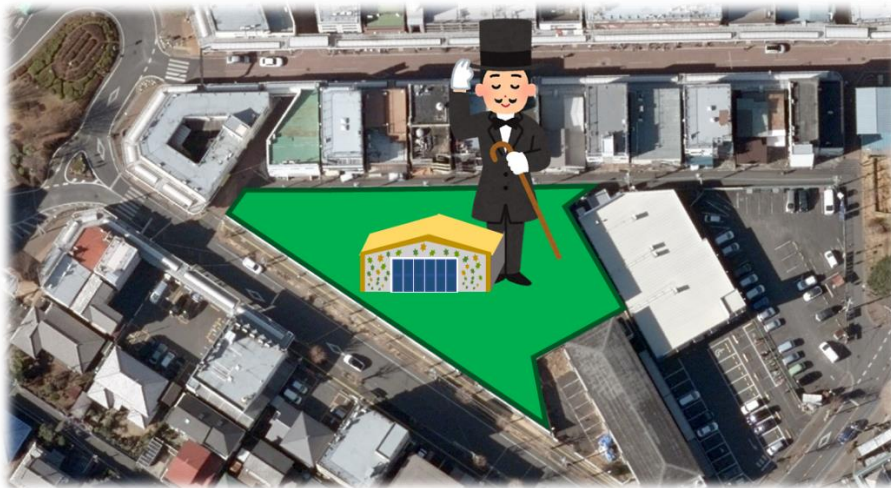
- ・上記課題を踏まえ、ジェット口跡地の活用方針について、話し合いを行いました。
- ・3グループに分かれ、テーマ①は個人ワーク、テーマ②はワークショップ形式にて議論を行いました。
- ・各グループの構成は以下のとおりです。

Aグループ	Bグループ	Cグループ
坪井委員	三好委員	加藤委員
長瀬委員	熊谷委員	杉浦委員
檜木委員	吉岡委員 (熊木委員代理)	赤地委員
照沼委員	富田委員	染谷委員
市原委員	志見委員	
高野委員		

- ・検討会で話し合った内容については、次ページ以降にまとめています。主な意見として、市において要約し、編集したものを掲載します。

**テーマ①：ジェット口跡地をどのようなことをさせる場にしたいですか。**

- ・あなたが仮にジェット口跡地で施設の1つを自由に運営できるとして、地域の課題を踏まえて、どのようなことをさせる場にしたいですか。最も重要だと考えていることを1つ考えてください。
- ・ワークシートに沿って考えてみましょう。



▲ワークのイメージ

第2回ジェット口跡地活用に係る基本構想市民検討会  
ワークシート

委員名：

解決させたい課題  
\_\_\_\_\_  
誰に対して  
\_\_\_\_\_  
どのようなことをする場  
\_\_\_\_\_  
いつ・どの程度  
\_\_\_\_\_  
なぜ  
\_\_\_\_\_  
自由欄

※本シートは検討会終了後、記録のため、事務局にて回収します。

▲ワークシート

**・ワークの結果（各委員ごと）**

A委員	
解決させたい課題	● 次世代を担う子どもや若者の確保
誰に対して	● 未就学児、小学生
どのようなことをする場	● 学習、遊び、いろいろな経験ができる場所（多世代交流）
いつ・どの程度	● 週7日運営もしくは平日1日程度の休み
なぜ	● 子どもが集まることで活性化につながると思うから

B委員	
解決させたい課題	● 住民同士がつながる機会づくり ● 次世代を担う子どもや若者の確保
誰に対して	● 住民（子ども、若者、高齢者） ● 他地域の人たち
どのようなことをする場	● つながりをつくるためふらっと立ち寄りおしゃべりができる場 ● ちょっと学習ができて本も読める場（図書館、多目的スペース）
いつ・どの程度	● 毎日 ● 土日はイベントを開催
なぜ	● 流山市の図書館は駅から遠い。駅から近い所に図書館があると他地域の人、親子、学生にも便利である。 ● ちょっと話したい時、カフェスペースがありがたい。つながりが広がる。

C委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民同士がつながる機会づくり</li> <li>● 次世代を担う子どもや若者の確保</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供たちに対して</li> <li>● 全部の世代</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ふらっと買い物ついでに立ち寄れたり楽しい場づくり</li> <li>● ちょっとしたあつまりがすぐにできる</li> <li>● ご近所でおしゃべりしたりちょっとした楽しい企画をしたり実行できる場</li> <li>● 子どもは絵や自然に触れる（植物や工作）、身の回りにあるものに興味をもつきっかけづくり</li> <li>● どんなことにも興味がある子どもがいろんなことに取り組める広場</li> <li>● 子ども食堂ができる場</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常</li> <li>● 子どもは昼間、学生は夜、主婦は昼、年寄は朝早く</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ふらっといけるところがほしい</li> <li>● ちょっとした場がない</li> </ul>

D委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化社会へ対応した支え合う体制づくり</li> <li>● 住民同士がつながる機会づくり</li> <li>● 次世代を担う子どもや若者の確保</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業</li> <li>● 市民</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コミュニティスペース、みんとしょ</li> <li>● まちづくりの人々があつまる場をつくる</li> <li>● コミュニケーションをとる</li> <li>● ふらっと知らない人と話す</li> <li>● やりたいことをやってみる</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 店として運営するため週6日営業</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民のあつまる場</li> <li>● 街を変えるプレイヤーが必要</li> <li>● 他の地域からも来てくれる場</li> </ul>

E委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化社会へ対応した支え合う体制づくり</li> <li>● 住民同士がつながる機会づくり</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化した住民</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気軽に立ち寄り自販機を利用し茶飲み話やゲームをする</li> <li>● 集会所としても活用。テレビ設置。</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日（終日）</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者の交流の促進</li> </ul>

F委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民同士がつながる機会づくり</li> <li>● 高齢者、障害者、子どもの他、誰もが過ごしやすい環境づくり</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 江戸川台に来る人、暮らす人</li> <li>● 高齢者、障害者（児）</li> <li>● 子どもを含めた全ての人</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イベントホール、多目的ホールなど300人程度が集まれる場所</li> <li>● 屋内スポーツ場（障害者スポーツや誰もができる室内レクリエーションの場）</li> <li>● 子どもが楽しめる、体験できる室内・屋上遊びスペース</li> <li>● 調理室、障害を持ったり高齢になっても使いやすい高さ調節、音声機能や光などでわかる調理設備と調理器具</li> <li>● 工作室と作業室、仕事や就労を勉強できるITなどを整備した部屋（デジタル図書館）</li> <li>● 発信ができるスタジオスペース</li> <li>● 障害者、就労支援事業所で製作された商品の販売</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日利用ができる</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魅力ある江戸川台をつくるために</li> <li>● 誰もが参加できる空間をつくるために</li> <li>● 福祉の見本、流山市のバリアフリーの見本になるために</li> </ul>

G委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化社会へ対応した支え合う体制づくり</li> <li>● 住民同士がつながる機会づくり</li> <li>● 高齢者、障害者、子どもの他、誰もが過ごしやすい環境づくり</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民同士（若者から高齢者まで）</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ふらっと立ち寄れる場（飲食を気軽にできる）</li> <li>● 高齢者がゆったり寛げる</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 週6日（毎日）</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人と人とのつながりの場づくりを提供する</li> </ul>

H委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民同士がつながる機会づくり</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども、若者、老人（年齢により異なる面がある。）</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども食堂、遊び場、学習指導</li> <li>● フランクに集まれる場</li> <li>● 食事処、カフェ（場所）等楽しい場</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機会は場づくりが大切</li> <li>● 集い、コミュニティを通じ、つながりを拡大する</li> </ul>



I 委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民同士がつながる機会づくり</li> <li>● 次世代を担う子どもや若者の確保</li> <li>● 高齢者、障害者、子どもの他、誰もが過ごしやすい環境づくり</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植物・食を愛する高齢者</li> <li>● 子どもに特別な体験をさせたい子育て世代</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 菜園を起点として、集い・学び・憩う場</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運営：平日（親が働いている時間）</li> <li>● 祭り（収穫シーズン）：休日</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然と集まる</li> <li>● 自然に触れる価値</li> <li>● 子どもが楽しみながら過ごす</li> <li>● 地域自慢（緑、食文化）</li> </ul>

J 委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化社会へ対応した支え合う体制づくり</li> <li>● 住民同士がつながる機会づくり</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域住民（世代も問わず）</li> <li>● 地域の高齢者（リタイア後の人達）</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会合やイベント</li> <li>● 子ども食堂等の活動</li> <li>● 軽運動（健康体操等）</li> <li>● 日向ぼっこの場</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常的に雑談の場が確保されている</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この地域で住民同士が交流を行える場所が極めて少ない</li> <li>● 孤立しがちな高齢者同士が情報の交換を行える場がほしい</li> </ul>

K 委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民同士がつながる機会づくり</li> <li>● 次世代を担う子どもや若者の確保</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全世代に対して（メインは若者）</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生（理科大生、流山北高校、流経の学生）が主体となり、小学生以下をターゲットとしてイベントを行えるような場（大人がサポートし、前世代が触れ合える場）</li> <li>● 高齢者へはPCスマホの使い方等</li> <li>● ドローンやロボット工作</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 週末、月1回くらい</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 流経に子どもが通っているが、江戸川台に寮もでき、イベントに参加してもらうことで若者を取り込んだ交流が出来るのではないかと考えた</li> <li>● 物事を教えられる場をつくる</li> </ul>

L委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民同士がつながる機会づくり</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● きっかけになるのは子供達、高齢者</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもと高齢者が触れ合える場所</li> <li>● 高齢者はこどもに昔話、お手玉、あやとりを教える</li> <li>● 子どもは高齢者にスマホの使い方、ゲームの仕方を教える</li> <li>● 年齢に関わらずいつでも入りやすい雰囲気のある場所</li> <li>● 駄菓子や飲み物が置いてある</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎週末、日中</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもと高齢者の触れ合う機会がない</li> <li>● 子どもは高齢者に教わることが多い人を思いやる心</li> <li>● 独居老人が増えている</li> </ul>

M委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化社会へ対応した支え合う体制づくり</li> <li>● 住民同士がつながる機会づくり</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中学生（江戸川台外も含めて）</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中学生に基本的な学習をさせる（無料塾、場合によっては親の相談にもものる）</li> <li>● 地域の高齢者が先生になって子どもたちに教える。（新たな交流を生み出せるかもしれない。）</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 週2～3回（土・日も含めて）</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 塾に行けない子どもが多い</li> <li>● 「学力」の高い高齢者も多い。高齢者の出番をつくる。</li> </ul>

N委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民同士がつながる機会づくり</li> <li>● 高齢者、障害者、子どもの他、誰もが過ごしやすい環境づくり</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者、障害者、子どもの他、全ての方</li> <li>● 障害者と家族、高齢者と家族</li> <li>● 祖父母と孫、母と子</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安心安全に待ち合わせが出来る場所</li> <li>● 見守られながら待てる場所</li> <li>● 雨の中一人で不安な時や待ち合わせの時、長時間待てる場所</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日、帰宅時に</li> <li>● 近所に買い物に行っている間。高齢者デイサービスの後。出張所に手続きの間。</li> <li>● 自宅に誰もいない時。カギを持っていない時。非常時</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誰かに見守られながら待つことで安心安全でいられる</li> <li>● 地域の方に見守られつながる</li> <li>● 障害者など1人で待てるが不安が多く、イスに座り、夏など暑さも避けられる</li> </ul>

〇委員	
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域固有の魅力づくり</li> </ul>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魅力的な店舗の誘致</li> <li>● 不特定多数の集約</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 常時</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 駅前商店街を含めた活性化</li> </ul>

・ワークの結果（一覧まとめ）

ワークシートの項目	委員からの主な意見
解決させたい課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民同士がつながる機会づくり（13名）</li> <li>・次世代を担う子どもや若者の確保（6名）</li> <li>・高齢化社会へ対応した支え合う体制づくり（5名）</li> <li>・高齢者、障害者、子どもの他、誰もが過ごしやすい環境づくり（4名）</li> <li>・地域固有の魅力づくり（1名）</li> </ul> <p>※多い順に整理。複数選択あり。</p>
誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民</li> <li>・子ども、学生</li> <li>・高齢者</li> <li>・子育て世代</li> <li>・障害者</li> </ul>
どのようなことをする場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的にふらっと気軽に立ち寄れる場</li> <li>・ゆったりくつろげる、日向ぼっこの場</li> <li>・ちょっと学習ができて本が読める場</li> <li>・魅力的な店舗など目的のない人でも集まる場</li> <li>・日常に便利な行政機関のある場</li> <li>・お茶やおしゃべりができる場</li> <li>・高齢者と子どもが互いに学習し合える場</li> <li>・子どもと高齢者が触れ合える場</li> <li>・ホールなど人が集まれる場</li> <li>・子どもを真ん中に多世代が集まれる施設</li> <li>・会合やイベント、軽運動などの地域活動の場</li> <li>・誰もが使える室内レクリエーションの場</li> <li>・ボランティア団体（子ども食堂など）の活動の場</li> <li>・子どもがいろんなことに取り組める広場</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生が主体となりイベント等を行える場</li> <li>・企業等がシェアして活動できる場</li> <li>・菜園を起点に、集い・学び・憩う場</li> </ul>
いつ・どの程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ毎日（日常的に）</li> <li>・休日（イベントなど）</li> <li>・高齢者や子どもは昼間、学生や会社員は夜や休日</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と人とのつながりづくりのきっかけになる</li> <li>・自然とふらっと日常的に集まれる</li> <li>・住民同士の交流の促進になる</li> <li>・若者を取り込んだ交流ができる</li> <li>・高齢者や子どもの孤立を防ぐことができる</li> <li>・高齢者が得意なことを活かし、子どもと触れ合う機会をつくる</li> <li>・子どもの学びの機会、楽しみながら過ごす場になる</li> <li>・地域を活性化し、地域自慢ができる魅力ある江戸川台をつくる</li> <li>・市民や他地域から街のプレイヤーを集めることができる</li> <li>・現住民が居たい子育て世代が来たいと思える場をつくる</li> <li>・誰もが参加できる空間をつくる</li> <li>・流山市のバリアフリーの見本になる</li> <li>・地域に見守られ、誰もが安心安全でいられる</li> </ul>

### 石田座長講評

- ・課題を「住民同士がつながる機会づくり」とした人が一番多かったように思う。つまり、つながりを一番重要視しているように思える。
- ・「次世代を担う子どもや若者の確保」「高齢化社会へ対応した支え合う体制づくり」が次に多く、住民同士だけでなく、子どもや若者と高齢者、障害者など、多くの関係性をつなげていく必要があると感じた。
- ・それを解決するには、ふらっと来られるような場が必要。毎日あることが重要である。

テーマ②：テーマ①で出し合った場合は、どんな人がどんなことをしているイメージですか。

- ・自分のプランについての場のイメージをグループで発表し、グループごとにまとめてください。

### Aグループ

- ・集まり方が3つに分かれる。行政サービス、ワークショップや買い物など目的を持ってくる人。緑や菜園などふらっと立ち寄る人。顔なじみ同士で会いに来る人。
- ・過ごし方は、ワイワイガヤガヤではなく、ゆっくり落ち着いて時間を過ごしている。イベントもあって、そこでみんな学んでいった感じ。
- ・多世代で、双方向でつながる場。



▲発表（照沼委員）

### Bグループ

- ・ベッドタウンとして寝るだけでない過ごし方。
- ・例えば、散歩する。コーヒーを飲む。本を読む。軽食をとる。会話をする。



▲発表（三好委員）

### Cグループ

- ・安全な安心に過ごせる施設。
- ・教え合う場。大人から子供に。子供から大人に。
- ・スポーツジム、キッチン、カフェなどの施設に、真ん中に子どもがいる場。
- ・全世代がつながる施設。



▲発表（赤地委員）

## 石田座長講評

- ・楽しんでワークができたと思う。現状を考えると気持ちが下がってしまうが、どんなものをつくるにしてもワクワク感が必要である。
- ・行動は、目的ベースで動いていて、ほとんどの人が検索して目的を決めて動く。ふらっと動くにも、それ自体を目的に設定しているのだから、ふらっと行ける場がないと、ふらっと行くことすらできない。
- ・行政機能だけでなく、飲食などの民間施設の意見も多かったが、最初は可能性を考えるため、枠を広げて話をするべきだと思う。また、将来的に駅周辺の再整備も行われるので、この検討会でそれらとの連携も考えながら、ジェット口跡地の役割を考えてほしい。
- ・実際にどういうことができるのか可能性が出てきたと思う。この後、説明があるが、実際に現地で試してみることでより議論が深まると思うので、是非やってほしい。



▲石田座長

## ・その他報告

### (1) トライアルサウンディングの実施について

- ・トライアルサウンディングの実施について、市から説明を行いました。
- ・本日話し合った内容を現地で試しに実施できることをグループで話し合いました。

## ・質疑

- ・三好委員から、エリアビジョンで示す「老朽化した公共公益施設の集約」について、市から具体的な施設名の説明がないが、次回、決まっている施設の説明を行ってほしいとの質問がありました。
- ・市から、現時点で決まっているものではなく、この検討会の議論を踏まえて、相応しいものを検討していくと回答しました。

## ・検討会資料

第2回の検討会資料については、市ホームページで公開しています。

下記のQRコードを読み込むか、市ホームページ上で「第2回検討会」と検索してください。



▲第2回検討会ホームページ